（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	はまなす（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年2月24日	～	令和7年3月7日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	７名	（回答者数）	３名
○従業者評価実施期間	令和7年2月24日	～	令和7年3月7日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	５名	（回答者数）	５名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども達が楽しく安心して通える環境づくり	こどもの特性に合わせて、活動や過ごし方を提供している 場面に合わせて、リハ室や多目的コーナー、ミライエ（地域交流スペース）など活動の場を広く提供している	５領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）を意識した支援をする
2	非常時等の対応や体制づくり	発作等が起きた場合に備えて、保護者、学校とも足並みをそろえてのマニュアルを作成している 虐待防止委員会を中心とした定期的な研修や毎週月曜日に虐待防止スローガンの読み合わせを実施している	服薬変更があった場合など、速やかにお薬情報を共有できるようにする 避難訓練などの非常時対応の訓練にできる限り子供も参加する機会を設ける
3	多機能型事業所であることと入所施設が隣接していること	多機能型事業所のため、こどもが同年代だけでなく、大人たちと一緒にレクリエーションなどを行う機会を提供している 短期入所する場合などスムーズに移行できるよう支援できる	段階的に日中一時や短期入所などに移行できるよう、日頃から、こどもが色々な職員などと交流できるよう支援する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や保護者会などの開催ができていない	感染症の拡大等があり、「集まる」ことに消極的になってしまう 日頃より丁寧に情報共有するよう努めているので、周囲の感染症流行に対して、先送りにしてしまっている	小さな集まりから考える 個別面談や保護者の行事参加など検討し、実施する
2	職員の支援等に対する体制づくり	支援やお迎えの時間帯が集中してしまうことがある 保護者、職員とも、職員数に対する評価が低い こどもに対応できる職員が少ない	支援が重なる時間帯での職員の連携を見直す 日誌、連絡帳等の記録についての効率化と活用法を検討する 児童に対する研修等実施する
3	地域との交流が少ない	支援学校からの往復が１時間もかかるため、日頃の放課後の利用時間では、地域交流の場を設けられない	長期休みの場合など、地域ボランティアの活用や地域のこども達との交流の場を企画提供できるよう取り組む

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	はまなす（放課後等デイサービス）

公表日 令和7年3月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	リハ室とデイルームで分かれることができる 他のフロアを利用することもある	もう少し広い方がよいと思う マットスペースでの活動などの時に利用児の体が大きくなったこともあり、狭いと感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	3		職員の連携がとれる時ととれない時がある 同性の支援が必要な場合、待っていただくこともある（男性職員が少ない）
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		マットスペースはあるが、生活介護の利用者も利用しているため、わかりやすくはないと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		マットは拭き、清潔にし、こども達が横になれる所を用意している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		利用児の特性に合わせてスペースを使えるようになっている リハ室やリスニング室を活用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		目標の掲示を行っており、共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		行っているが、見たことはない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		事故や怪我がなく、個人に合わせた生活に取り組むよう、いろいろ改善している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		第三者評価は受けていない 見たことはない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人の研修部による研修の機会がきちんと確保されている	法定研修のほか、児童に特化した研修を増やしたい
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		法人のサイトに公表している	定期的な見直しを行う
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		重心のこども達なので直接ニーズを聞くことは難しいが、できる限り意向に沿うようにしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		カンファレンス等で検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5			多機能型事業所のためか、職員間で温度差がある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		確認している 日々の活動から状況や状態の把握に努めている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		家族の送迎などの際にコミュニケーションをとっており、適切に情報共有している ５領域を意識して、支援プログラムとも連動した内容にしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			職員が固定化されてしまいがち 活動プログラムの幅を広げたい

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節行事など取り入れて、同じ活動が続かないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動だけではなく、利用児の体調に合わせながら集団活動にも参加できている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		打ち合わせで情報共有を行っている 朝の打ち合わせ等で確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5		毎日決まった時間に振り返りの時間を設定している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援した内容については、毎日記録し、打ち合わせの時間などに、他職員と共有し、改善につなげている 日々の変化が分かるよう記録を取っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1		利用時間が短い方もいて、組み合わせての活動が難しい 地域交流に関しては今後の課題である
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		利用児が自分で活動を決めたり、自主的に選ぶ機会をもうけている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	医療については、保護者を通して情報を得て支援を行っている	直接の連携はしていないが、相談員を通して情報共有している
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時に情報共有できている 送迎時の申し送りや学校からの登録メールを活用している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	家族からの情報を中心に得ている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		情報提供している 当法人以外の事業所へ移行する場合には相談員と連絡をとっている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	1	情報を得て研修などに向かうことはある 他法人とともに研修を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		コロナ禍や他の感染症等もあり、実施できていない サマーキャンプの児童と交流の機会はあるが多くない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		発作の状況や薬の情報を知りたく、保護者と話し合いを持つようにしている お迎えの時など、保護者さんと直接情報交換できている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		家族とともに家族支援プログラムや研修に参加し、対応力を身につける機会があったなら、お互いに向上できるのではないかと思う
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		サービス等利用計画を基に作成している 契約前の面談等で聞き取りを行っている	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5		同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		家族からの相談には随時応じている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4		保護者会は実施していない 今後の課題ととらえている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情などある場合には、迅速かつ適切に対応する	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		活動の様子などは、ブログや写真等で渡すことができている 法人の通信に定期的に活動を載せている 法人や施設のおたよりを配布している	HPやSNS等の活用を積極的に検討したい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		留意している ブログ等事前に確認している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		送迎時に利用時の様子を伝えたり、連絡帳にて伝えあったりしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		地域のボランティアなどが来所するイベントも多い	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			訓練を実施しているが、保護者には伝わりにくい 家族への周知を強化していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的な研修（法人BCPチーム）に参加している 伝達研修している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬については薬局からの説明書を提出していただきコピーしている 発作時についての主治医の指示書をいただいている 保護者、学校とも情報共有し、緊急対応の手順書など作成している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギーについては、家族より情報を得ている アレルギー対応の児童は現在いないが必要となれば対応する	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、保護者に説明している 計画に沿って支援している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5		安全計画策定後、保護者に説明し、同意をいただいている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット、事故報告を共有している 事例検討も行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会を中心として、内部研修等を行えている 定期的な研修を行っている 毎週月曜日には朝の打ち合わせでスローガンを読み合わせている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束にあたる場合、計画に記載している 定期的に見直しの会議をしている	